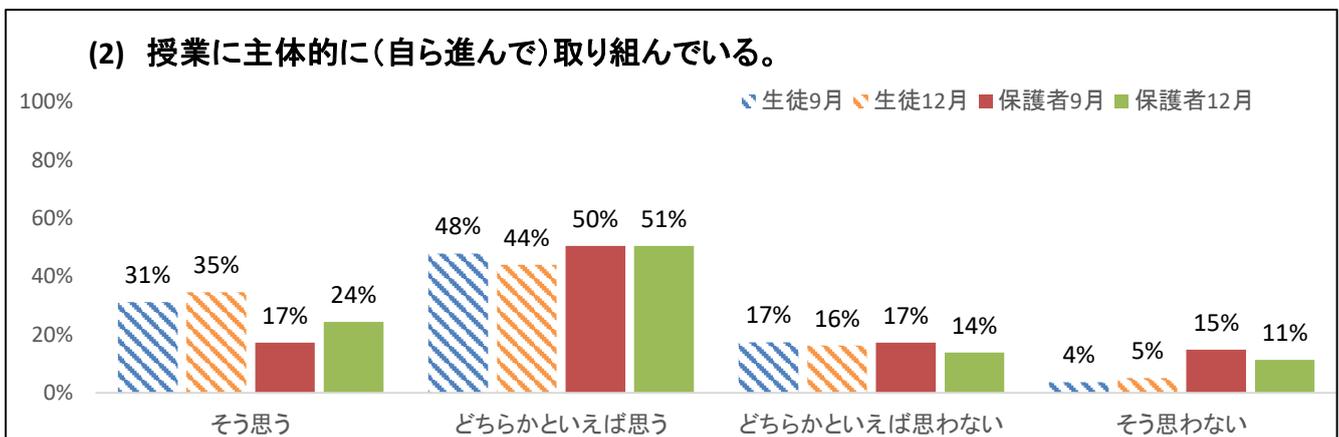


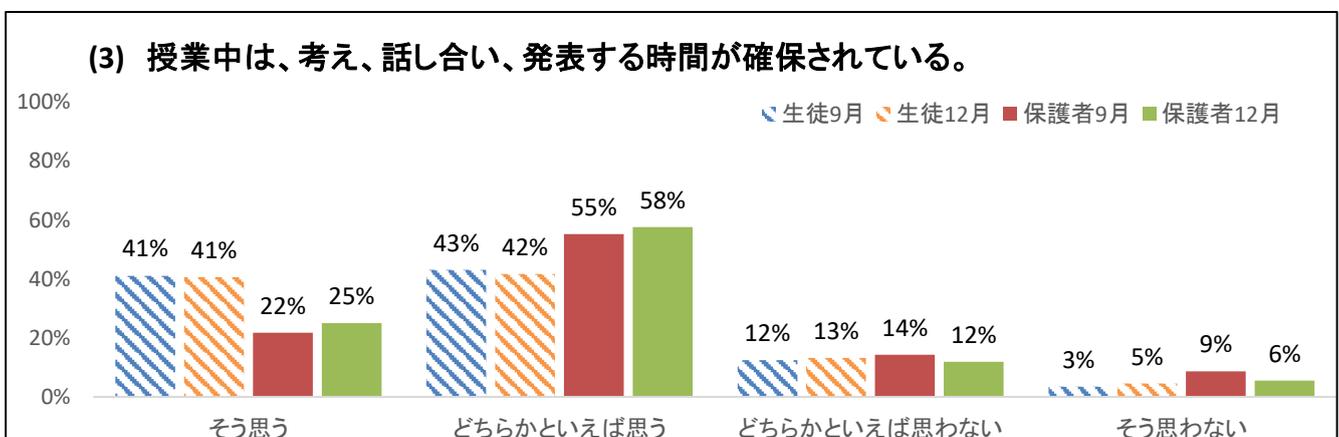
**【考察】**

「概ね実感できる」と回答している生徒約18%減少している。今後はさらに教員の継続的な研修等で、ICTを活用して、授業改善に取り組む必要がある。



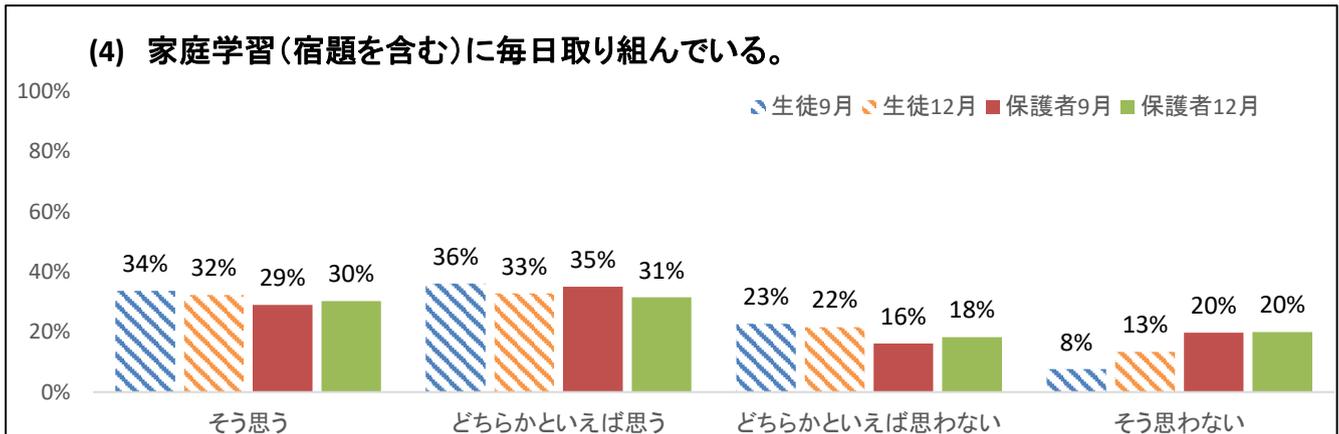
**【考察】**

授業に主体的に取り組んでいると実感している生徒の割合が若干増えている。身に付けた知識・技能を活用して、話し合い活動や学び合いが進むような学習形態、授業展開を通して、深い学びが得られるようにする。



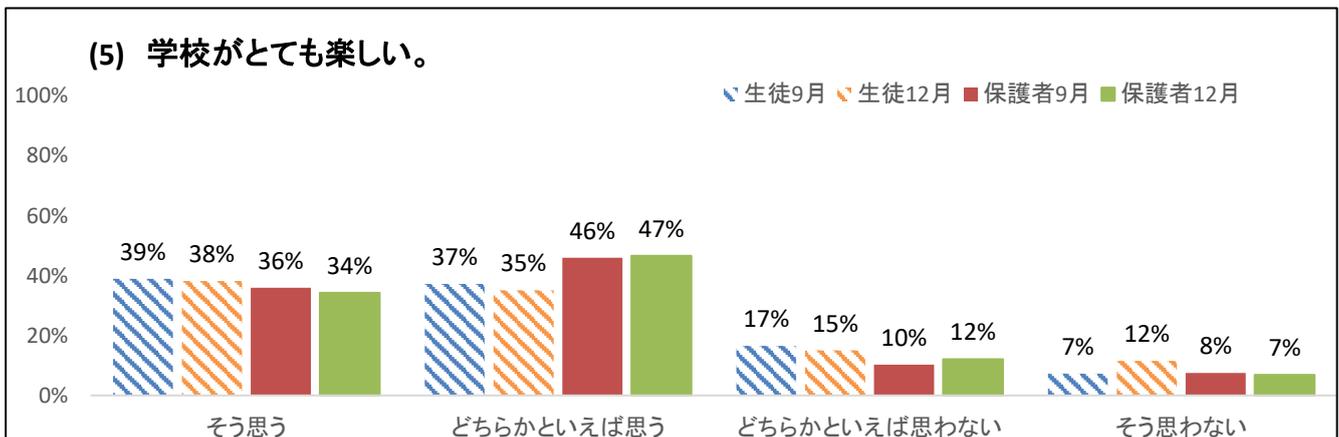
**【考察】**

授業中に話し合いや発表を積極的に行っている生徒の割合も、約80%を超えており、保護者にも理解を得ている。さらに自分の意見や考え方を表現できる機会を確保していく。



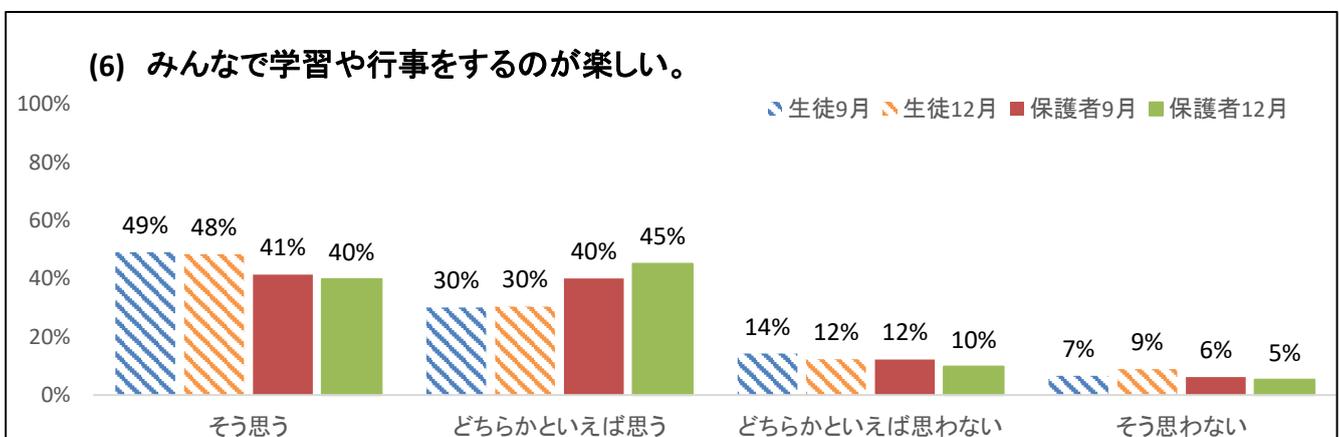
**【考察】**

家庭学習に取り組む生徒が若干減少している。また保護者もその様子を把握している割合も減っている。学年・学級を中心に家庭での学習の仕方について支援する必要がある。



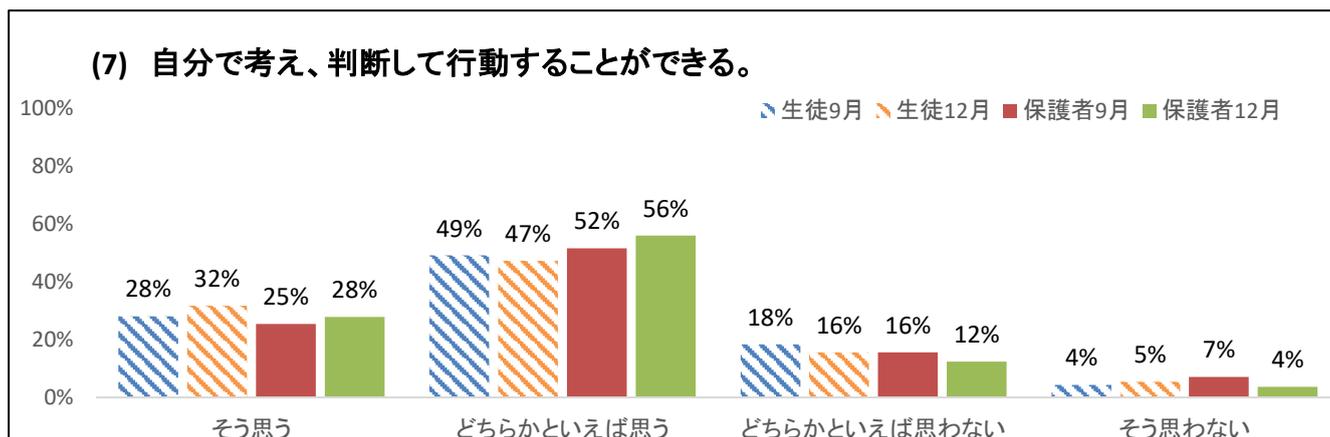
**【考察】**

授業の改善、学校行事への取り組みを見直し、学校の楽しさを実感できていない生徒への働きかけを中心に、さらに安心して登校できる環境整備に努める。



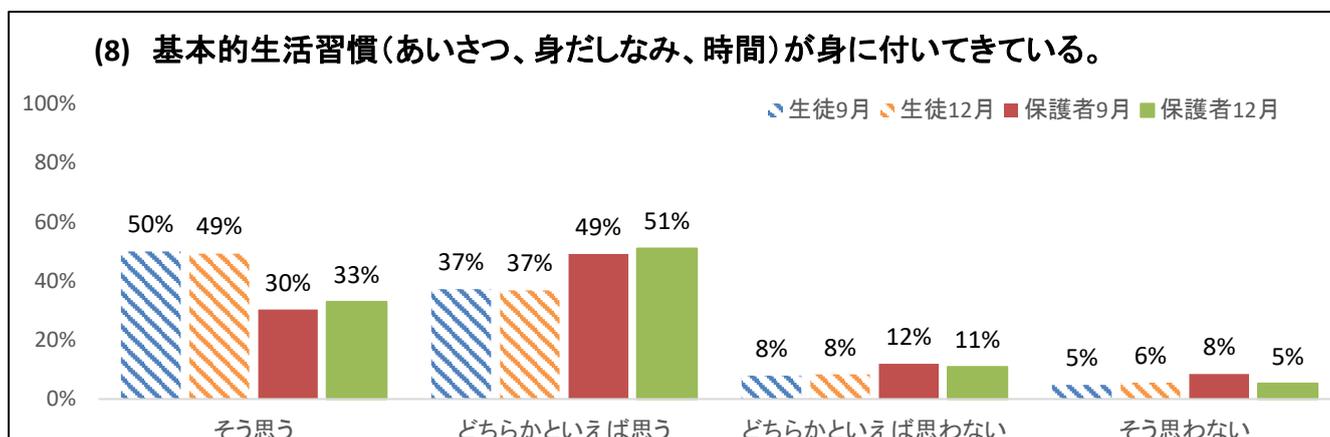
**【考察】**

学校行事の縮減もあったが、多くの生徒が学習、行事に主体的に関わり、一人一人が楽しいと実感できる学校運営を目指す。



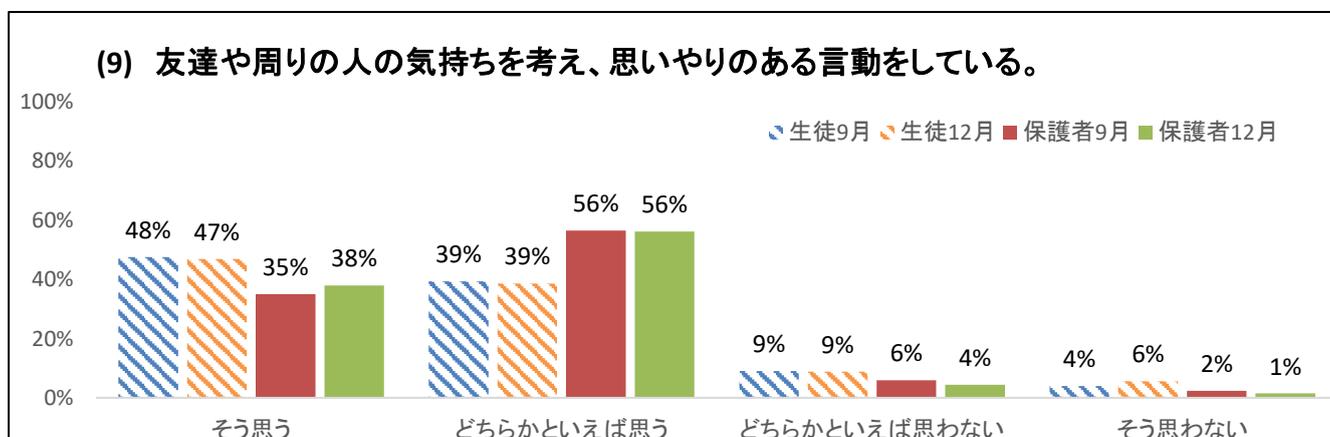
**【考察】**

今後も学校の目指す生徒像である「自分で考え、判断できる生徒」の育成のため、判断して行動できる機会をつくっていく。



**【考察】**

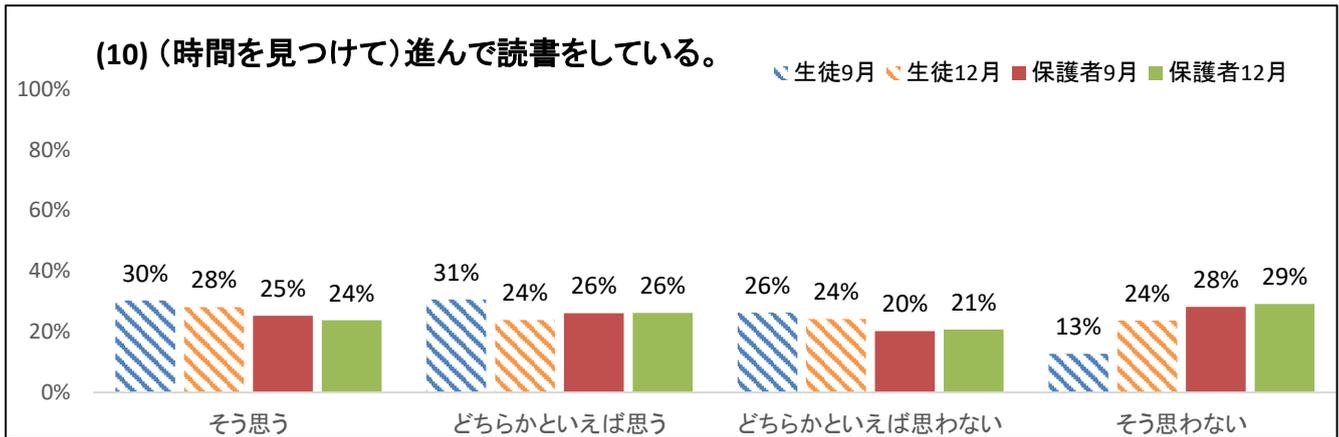
多くの生徒が基本的な生活習慣を身に付けてきている。また保護者もそれを実感している。



**【考察】**

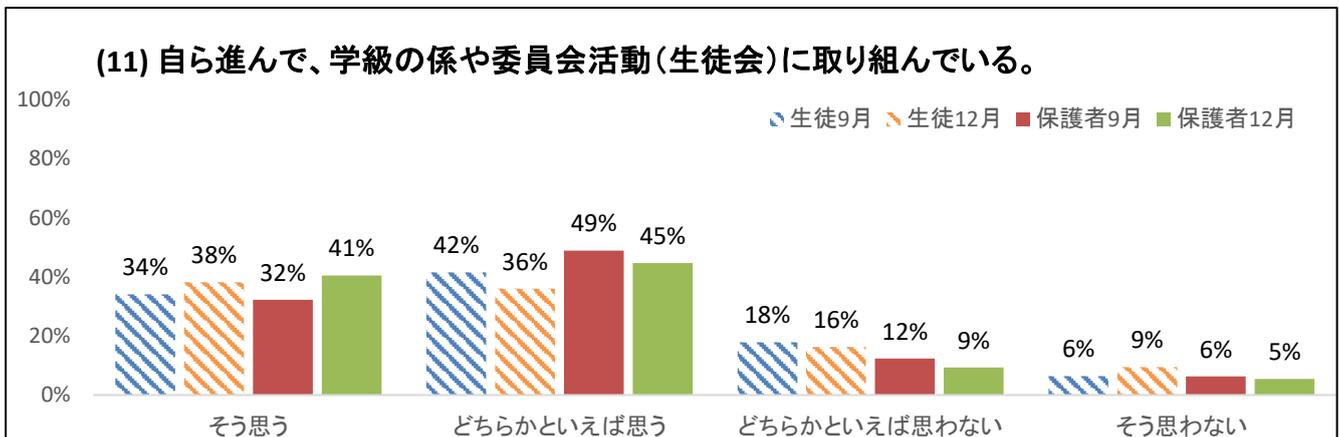
大半の生徒が人の気持ちに寄り添い、思いやりのある言動をしている。保護者もその優しさを理解している。

令和3年度 「学校をよりよくするためのアンケート」 9月・12月（生徒・保護者比較）



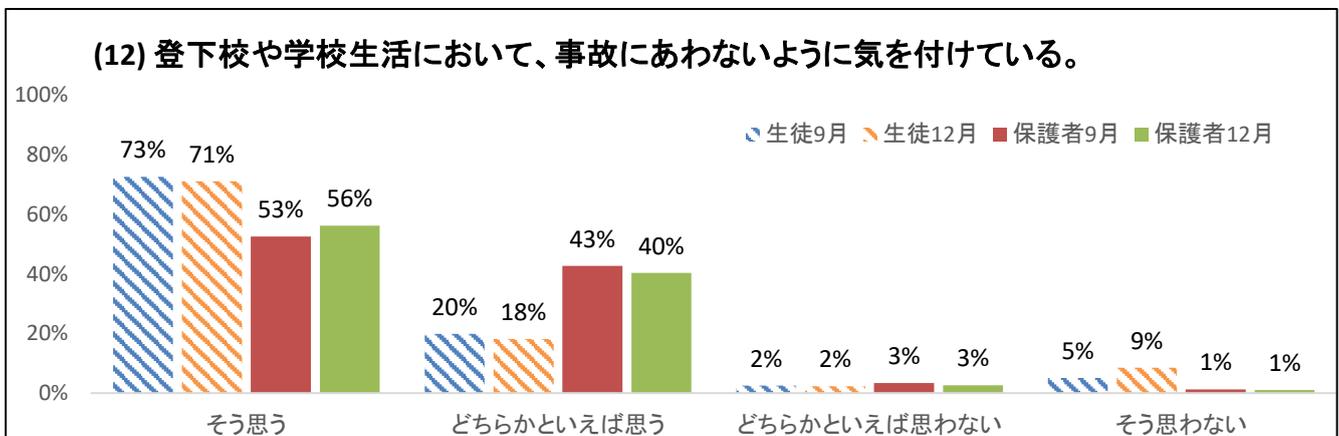
**【考察】**

学校では、時間が確保されない状況下で、進んで読書に取り組む生徒が減少している。学校と家庭が連携して、情操教育としての読書を推奨していく。



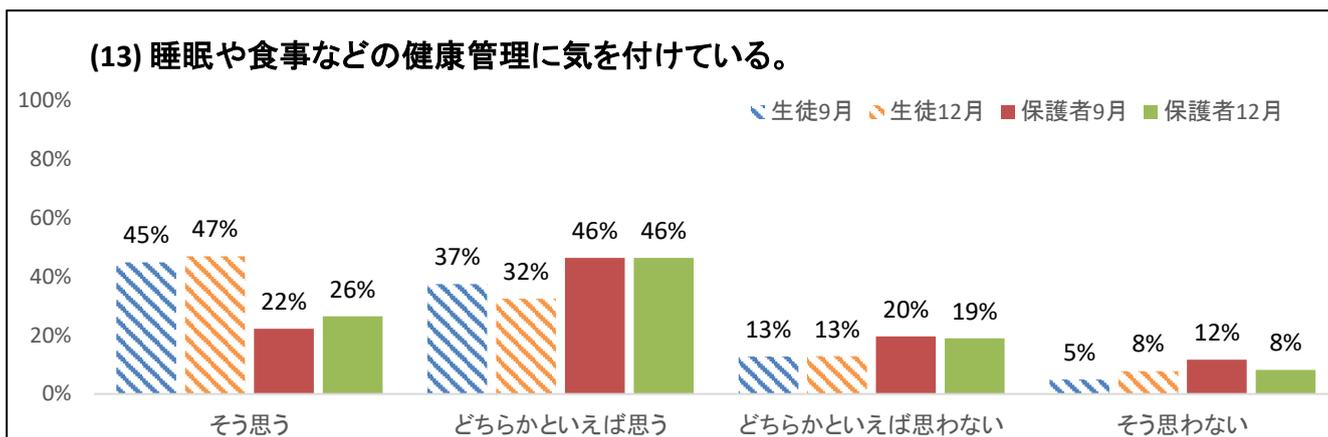
**【考察】**

大半の生徒が委員会活動や学級の係活動に参加している。よりよい学校生活に向けて意欲的に自治活動に取り組んでいる。



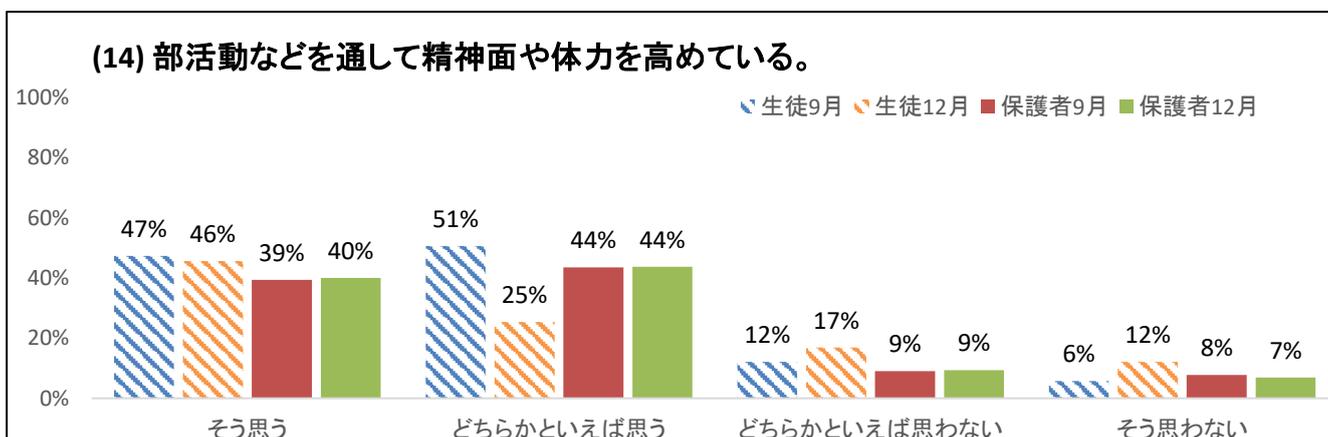
**【考察】**

ほとんどの生徒が登下校の事故や学校生活で安全に生活している。引き続き、交通安全指導を継続するとともに、家庭での協力を期待する。



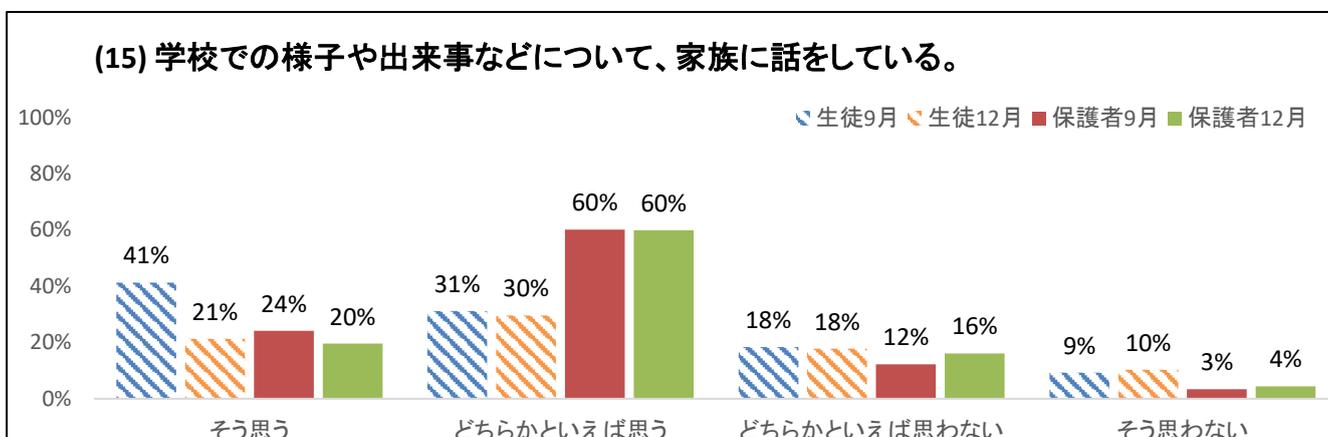
**【考察】**

ほとんどの生徒、家庭が健康に対する高い意識を有している。感染症対策も含めて、健康教育（食育）を継続する。



**【考察】**

部活動に多くの時間が取れない状況であるが、体育の授業や昼休みの外遊びを通して、心身の鍛錬に取り組む。



**【考察】**

保護者は、学校ホームページ、ホーム&スクール（アプリ）を通して、情報の発信について理解を得られている。今後も継続して情報提供を心掛ける。